

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西島製作所 新本社工場ビル建設	階数	地上7F
建設地	大阪府高槻市宮田町	構造	SRC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	580 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,205 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年7月31日
敷地面積	52,979 m <sup>2</sup>	作成者	類設計室 柳瀬尚弘
建築面積	2,887 m <sup>2</sup>	確認日	2019年8月2日
延床面積	14,375 m <sup>2</sup>	確認者	類設計室 小林有吾



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 74% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 74% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 74% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日射遮蔽やメンテナンスを考慮し、機能とデザインを両立した外壁・庇システムを計画した。</li> <li>スキップフロアと吹き抜けでつないだワンルーム・オフィスにより、部門を超えたミーティングや交流を促すフレキシブルな空間を実現した。また吹き抜け空間を利用し、自然通風や自然光の取入れを図った。</li> </ul>		0
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に応じた空気の流れを創る、排気・トップライトを配置した。</li> <li>空調負荷を低減するためにガラスは複層ガラスを標準とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフィスはOAフロアにより、レイアウト変更に対応した。</li> <li>施設全体の維持管理に配慮したダクトや設備配管に耐久性の高い材料を採用することで長寿命化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道沿いには歩道上空地と緑地帯を設け、歩行者の安全と景観の形成に配慮した。</li> </ul>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備はLEDを採用した。建物外皮の熱負荷を抑制することで、省エネルギー化を図った。</li> <li>自然通風を導入し、心地よい風を建物に導入し、夏の冷房期間の短縮を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害物質を発生しないF☆☆☆☆☆建材の使用に配慮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な量の駐車・駐輪スペースを設けた。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0067

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	西島製作所 新本社工場ビル建設工事					
	建設地	高槻市宮田町					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

報告しない

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		